

アメリカ- ハワイ関係についての簡単な歴史

1826 - アメリカはハワイ王国を主権独立国として認識しました。

1893 - 米海軍は米国国家安全保障上の利益を口実としてハワイを占領し、米国大臣はハワイで米国旗を立ち上げ、ハワイをアメリカの保護領に宣言しました。その後、米政府はハワイ女王のリリウオカラニを“追放”しました。(女王の抗議をご参照ください。<http://www.kanakamaolipower.org/history.php>).

1898 - 米国はルイジアナ、フロリダ、テキサス及びその他の領土を併合する様に公式的な併合条約などの手続きを逃げ、“公式に”ハワイを属国として発表しました。国際法では併合条約の欠如は属国の主権が放棄されていないことを意味します。

1959 - 米国は保護国の状態を保持するかそれとも州としてアメリカに参加するかを聞く国民投票を組織しました。米国の優遇な結果の為に、彼らは国連憲章で規定された3番目の質問であるハワイの人々は独立を望んでいるかどうかのを意図的に省略しました。ハワイに駐留する10,000名米軍投票のお陰で、彼らは米国に参加しようとの過半数の票を得られ、ハワイは米国の第50番目の州になりました。

きょう- ハワイはやはりアメリカ帝国で最も美しい植民地であるし、米国はまだハワイ人をベイに拘禁しようとしています。しかし、このような時間はどのくらいかかりましょうか…?

アメリカ人は毎日宣言しています：「私たちは地球で最も偉大な国だ！」
そして彼らはその生徒がこのように誓約すると教えます：「皆様の自由と正義の為に…！」

ハワイの反応は：　ハワイは米国に属していないし、属されることも決してありません！

独立を求めている他の民族はどうでしょうか？ 沢山の類似性があります。世界中でかなりの占領国は独立を達成するために必死になっています。彼らにも歴史的なストーリーがあり、占領方がどのように国際法を逃げ又は無視して彼らを抑制したかを人々に見せます。ハワイ民族はカウアイ島、反抗的な島で常設展示を行い、世界中からの訪問者に彼らの歴史的なストーリーと国旗を展示します。もちろん、これらのデータはインターネット上で検索することができ、他の多くの言語に翻訳されています。